2022年10月

2022年
事業報告書

香川国際協力*NGO U-dawn*

作成

2期代表　茂木貴慧
2期事務局長　地藤湧騎

代表挨拶

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

香川国際協力NGO U-dawnは、この度、毎年9月30日を以って会期を改めることとなりました。前回の事業報告から約半年という短い期間ではありましたが、組織として大きく変化があったと感じています。

「今日の笑顔を守り、明日の可能性を広げる。」というビジョンに向かって、
カンボジアの人々にとって必要なことは何か、私たちにできることは何か、沢山考え、悩み、メンバーと話しました。
「カンボジアにできることは医療だけじゃない。」設立当初からの気持ちを、新しく入ったメンバーからも聞くことができ、教育プロジェクトと水プロジェクトが新たに立ち上がりました。

また、今夏は、医療プロジェクトのNCPR講習会の開催に際して、U-dawn初となる学生主体のカンボジアへの渡航を果たしました。

新たな挑戦が多くあった今期でしたが、多くの方々からのお力添えがあったからこそ、実現できたと感じております。
ヒアリングにご協力いただいた皆様、サポーター制度や募金を通してご支援いただいた皆様、SNS等を通して見守ってくださった皆様、現地で関わってくださった皆様へ、
この場を借りて厚く御礼を申し上げます。
本当にありがとうございました。

私たちの挑戦はまだ始まったばかりです。
私たちの活動が、応援いただいている皆様にとっても誇らしいものとなるよう、
精進してまいります。

U-dawnらしく、がむしゃらに突き進んでいく所存ですので、これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

半年間の足跡を、ご覧いただけると幸いです。

2期代表　茂木貴慧

～私たちはこちらの方々に支えられています～

lim 地藤塾
実力→∞

丸亀うちわ屋
茂木団扇
SHIGEKI DANSEN

部屋と、ひとと、暮らし
GLOBAL
LIFE STYLE COMPANY

泉谷麻紀子 様
株式会社若松薬品 様

花岡通子 様
株式会社ウミショー　様

目次

団体説明 ……p.1-2

2022年度活動ハイライト……p.3

支援事業報告 ……p.4-8

医療支援プロジェクト

教育プロジェクト

水プロジェクト

令和4年度会計報告書……p.9

団体説明

団体概要

名称：香川国際協力NGO U-dawn(ユードーン)
設立年月日：2021年4月11日
会員数：21人 （2022年10月現在）

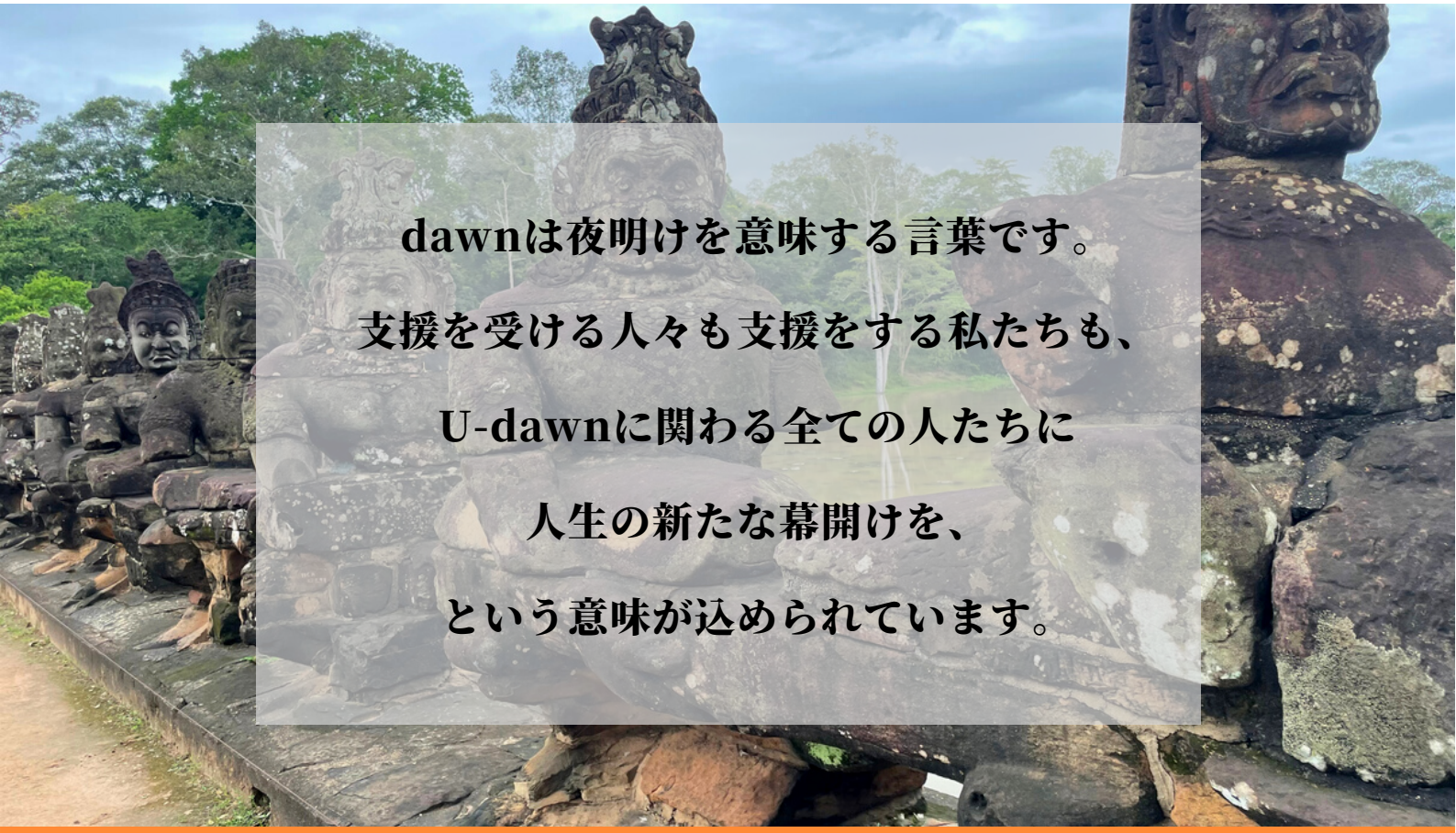
団体理念

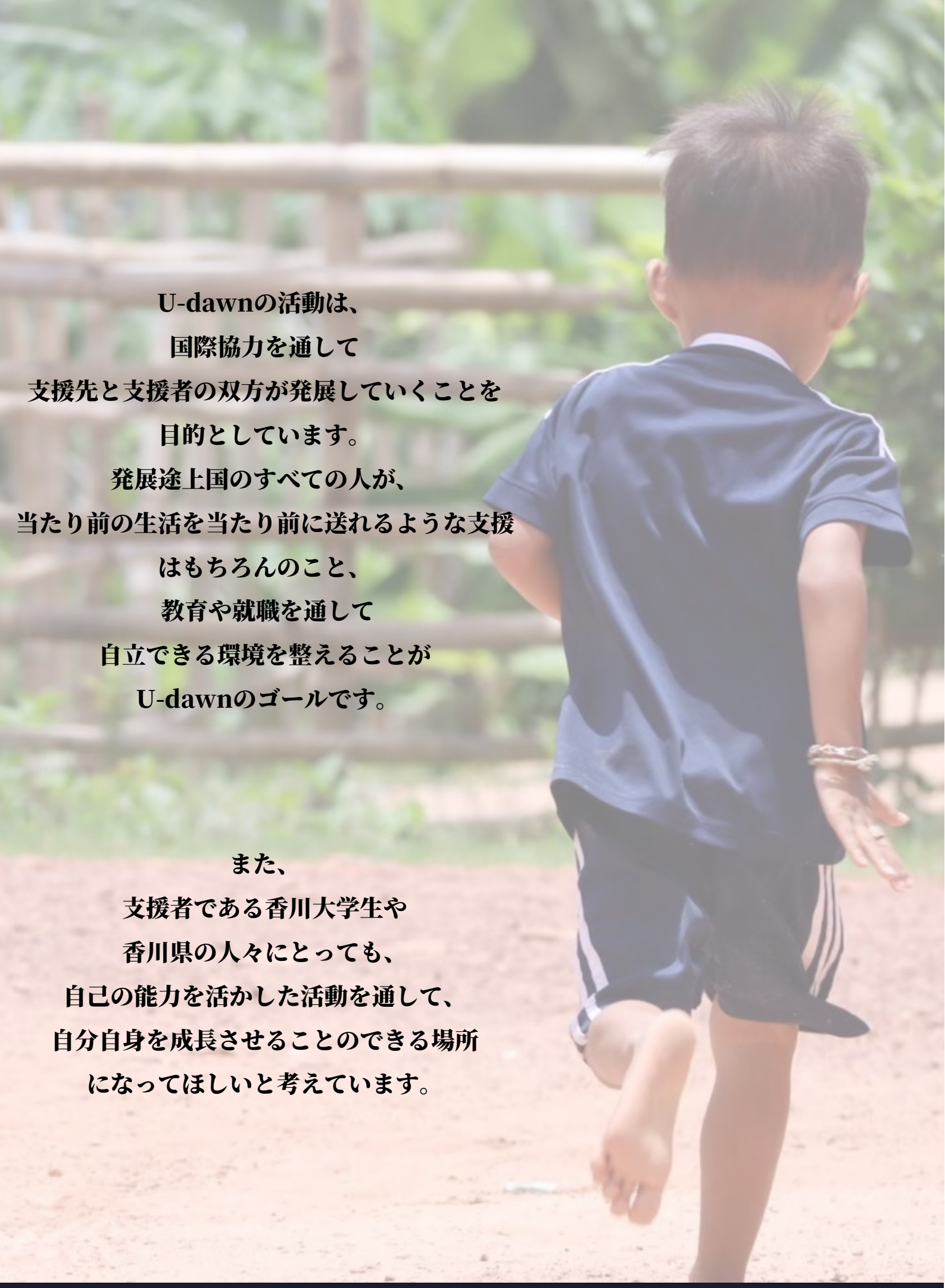
VISION

今日の笑顔を守り、明日の可能性を広げる

MISSION

すべての人の、当たり前の可能性を維持するための支援と、
さらなる可能性への足掛かりとなる活動への取り組み





U-dawnの活動は、
国際協力を通して
支援先と支援者の双方が発展していくことを
目的としています。
発展途上国のすべての人が、
当たり前の生活を当たり前に送れるような支援
はもちろんのこと、
教育や就職を通して
自立できる環境を整えることが
U-dawnのゴールです。

また、
支援者である香川大学生や
香川県の人々にとっても、
自己の能力を活かした活動を通して、
自分自身を成長させることのできる場所
になってほしいと考えています。

2022年度活動ハイライト

2021.4.11 「香川国際ボランティアサークル U-dawn」 設立

～1期活動期間～

～2期活動開始～

2022.4.1 運営交代式

4.24,30

5.5,5 zoom新歓

5.6 NCPR訓練セットがカンボジアに到着

5.13 本新歓、会長カンボジア渡航報告

6.3 経理講習会

6.13 第1回街頭募金@瓦町駅

6.17 財務活動紹介

6.29 第2回街頭募金@瓦町駅

7 香川大学食堂コラボ

7.1 マナー講習会

8.6-31 夏季休業

8.12-22 カンボジア夏渡航(NCPR講習会、現地調査)

9.2 運営選挙告知

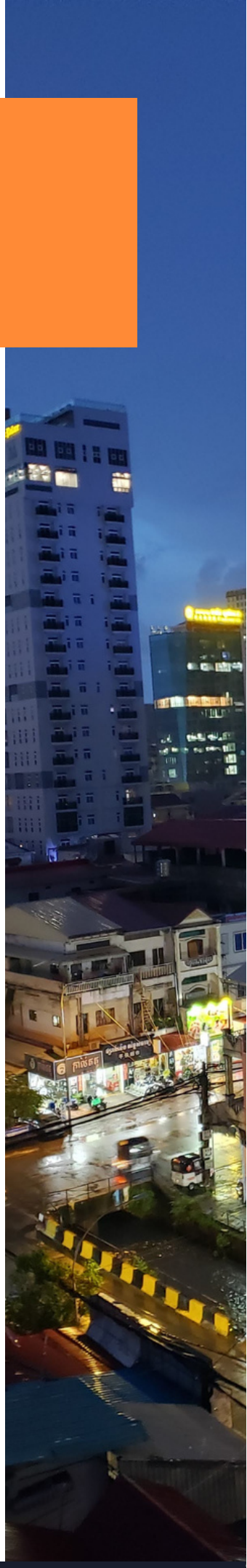
9.5 第3回街頭募金@丸亀町壱番街前ドーム広場

9.9 立候補者演説と投票方法説明

9.16 3期運営メンバー決定

～2期活動終了～

支援事業報告

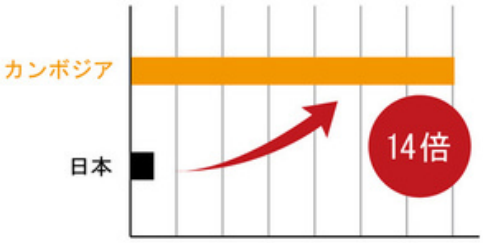


医療支援プロジェクト

事業概要

カンボジアで活動中のNGOや現地医学生などの様々な方から現地の医療事情について聞き取りを行った結果、カンボジアでは新生児の死亡率が非常に高いことが分かった。
カンボジアの医療者が新生児蘇生について学ぶ期間があまりないこと、
それに伴う設備や教材が不足していることが原因の一つであると考え、
医療者のスキルアップに必要な新生児蘇生の訓練器具を贈ることとした。
購入のための資金はクラウドファンディングによって集めた。
8月には医療支援プロジェクトのメンバーが実際に現地に渡航し、講習会を実施。他にも現地の病院を見学し、カンボジアの医療の現状を目で見て図る。

新生児死亡率　比較グラフ



カンボジアの新生児死亡率は、
ニッ本の14倍に及ぶ。

※「ユニセフ世界子供白書2021」より

新生児死亡率:
生後28日以内に死亡する確率。
出生数1000人あたりで表される。

● 現地の方からの声 ●
(SBSI佐々木明子さん)

カンボジアでは悲惨な歴史の影響もあり、医療体制が未だ不十分なのが現状です。特に都市から離れた地方の医療施設には、基本的な医療機器や専門的知識をもった医師や看護師が不足しています。医療機器ももちろん必要ですが、医療教育の向上はカンボジアの大きな課題であり、保健省が大いに取り組んでいます。しかし、カンボジア語に翻訳された教科書や専門書が少なく、訓練の設備や機会も大いに限られています。その一つが心肺蘇生法です。日本では当たり前に受けられる救命講習や、それに使う訓練人形はあまりありません。一度も練習したことがない医療者が大勢います。成人向けの蘇生法を学ぶ機会は幾らか増えてきたものの、まだ新生児や乳児の蘇生法、とりわけ気管挿管技術の習得は学ぶ機会が限られていて現地の医療者たちが要望しています。

カンボジアには若年層が多く、日々、新しい命が生まれています。しかし、すべての赤ん坊が医療体制の整った都市で生まれてくるのではありません。命の重さは同じでも環境が違います。訓練を通して基本を学んだ人が、いつか他を教えるようになり、カンボジア人がカンボジア人の命を救う助けとなることを私達は願っています。一人でも多くの命を救いたい、そのためにもっと学びたい、そう真摯に願うカンボジアの医療者たちを私達と共にご支援お願いいたします。

2022年活動の記録

NCPR講習会 @香川大学附属病院

附属病院の先生方のご協力のもと、
医療支援プロジェクトのメンバーがNCPR講習会を受講しました。
まずは自分たちが学び、カンボジアで行うべき講習会像を定めます。

カンボジアへ渡航

医療支援プロジェクトのメンバーがカンボジアに渡航しました。
現地で講習会を行うこと、またカンボジアの医療状況を
調査することを目的としました。

NCPR講習会 @カンボジア

私たちが新生児蘇生法訓練人形を寄贈した
サイト・バイ・サイド・インターナショナル(SBSI)の佐々木さん主催のもと
カンボジアのコンポントラッチ州立病院にてNCPR講習会を行いました。
また講習会の前後ではテストを実施し、受講者の理解度を測定しました。

現地協力団体
サイド・バイ・サイド・インターナショナル（SBSI）について

特定非営利活動法人サイド・バイ・サイド・インターナショナル（SBSI）は、
日本や海外で、貧困や災害その他の困難な状況に直面している人々の生活向上のために、
人道的支援活動を展開しています。
カンボジアでは、国際NGOとして、救急車などの緊急車両の輸送、
公立の119番救急医療体制強化、診療所や病院支援、学校や養護施設の支援も行っています。
最近は、カンボジア赤十字プノンペン支部と交通事故での救急医療支援などの覚書を交わしました。

保健センター見学

カンボジアでは人口１万人あたりに1つ保健センターが設置されています。
ここでは簡単な健康診断やお産、軽傷の処置を受けることができます。
国の保険制度に加入していると処置は全て無料になります。
未加入でも最大0.5ドルほどです。

ソビエト友好病院見学
カルメット病院見学

カンボジアの医療状況を知るため、
首都プノンペンにある病院に訪問しました。
カンボジアでは患者さんのお世話を看護師ではなく、ご家族が行います。
カルメット病院の新生児医療はカンボジアの中でも高度であり、
今回の講習会の講師もこちらから派遣していただきました。
現在、U-dawnの寄贈した人形の一体がカルメット
病院で保管されています。

日本帰国
渡航報告会

カンボジアで学んだことを日本にいるメンバーに共有するため、
渡航報告会を帰国後開催しました。
今回の実施した講習会や病院見学から得たことを
今後の活動に活かしていきます。

水プロジェクト

事業概要

ため池・浄水器・井戸の支援を模索中。インターネットで情報を収集し、カンボジアの現状とニーズ、支援の方法を模索している。香川大学へ講義に来てくださった機会を逃さず、JICA四国の山科さんとうどんハウスを運営している楠川さんにお話をうかがった。渡航ではプノンペンとシェムリアップで井戸を見学。中心地では上水道が整備されており、綺麗な水を使うことができるとのこと。しかし、少し郊外に出ると選択など飲料以外の用途で井戸が今でも使われている。

〈時系列〉

2022.6.3　開始
6.30　楠川先生MTG
8.10　JICA山科さんMTG
8.14　プノンペンで井戸を見学
8.19　日本人の宮﨑さんが作った井戸を見学
9 上旬　PL交代

教育プロジェクト

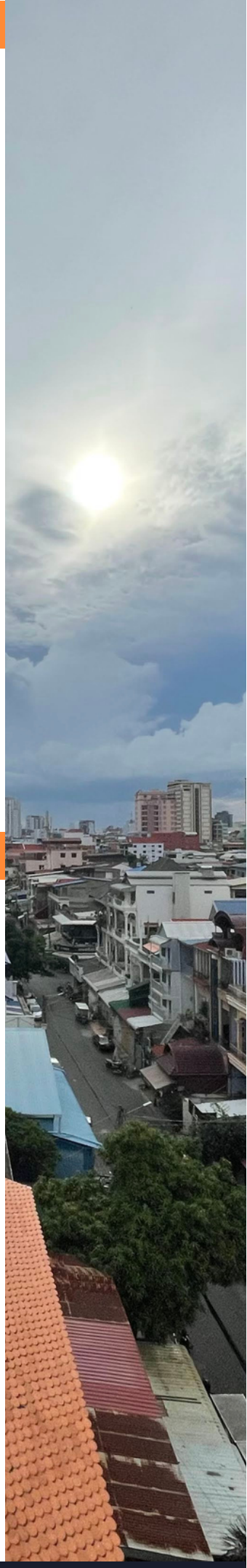
事業概要

孤児院の支援を考えている。ゆくゆくは学校を建設するという話も出ている。7月には現在カンボジアで孤児院を運営している日本人にzoomにてお話を聞ける機会を得た。

　また、9月にはカンボジアで障がい児支援を行っているスロラニュプロジェクト様とzoomMTGをする機会を得た。

〈時系列〉

2022.6.3　プロジェクト発足
7.31　一般法人KissoとZoomMTG
9.12　NPO法人スロラニュプロジェクトとZoomMTG



その他の活動

①食堂コラボ

香川大学生活共同組合のご協力のもと
カンボジア料理を食堂で提供していただける
ことになりました。
売上の一部はU-dawnに寄付され、より良い
活動のために使われます。

今回食堂で提供されたのは
クリティウ(カンボジア風フォー)
ロックラック(牛肉と白ごはん)
の２品です。

②オリジナルTシャツ作成

この度、U-dawnではオリジナルTシャツを
作成しました。
表面には私たちの活動に賛同いただいている
茂木団扇 様
地藤塾 様
株式会社グローバルセンター 様
のロゴを掲載しています。

③街頭募金

香川の皆様に
U-dawnのことをもっと知ってもらうため、
またカンボジア支援へのご協力を
呼びかけるために
瓦町駅
丸亀町壱番街前ドーム広場
にて街頭募金を行いました。

たくさんの方にご支援いただき、
またU-dawnの紹介カードも
受け取っていただきました。
皆さまご協力ありがとうございました。

令和4年度会計報告

令和 4 年度 香川国際協力 NGO U-dawn 会計報告書
〈会計期間：令和 4 年 4 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日〉

単位：円

収入総額	502250
支出総額	450856
差引残高・次年度繰越金	51394

会計報告書

単位：円

収入	年会費	78000
	食堂コラボ寄付金	54124
	T シャツ企画支援金	260000
	サポーター支援金	40000
	街頭募金	65347
	食堂募金	3769
	新歓募金	1005
	T シャツ購入差引金	5
	計	502250

単位：円

支出	渡航活動費	233580
	医療機器代	176000
	配送料	1440
	雑費	39836
	計	450856

上記の通り報告いたします。 令和 4 年 10 月 24 日 代表 経理部長

U-dawnが大切にしていること

VISION

今日の笑顔を守り、明日の可能性を広げる

MISSION

すべての人の、当たり前の生活を維持するために支援と、
さらなる可能性への足掛かりとなる活動への取り組み

Kagawa International Cooperation NGO
U-dawn

香川国際協力NGO U-dawn

問い合わせ・活動資料について

E-mail: udawnkagawa@gmail.com　URL:http://u-dawn.com
その他SNSのDMにてお気軽にご連絡ください。

本報告書の文章、写真等を無断で転載することを固く禁じます。